

県立高校では、臨時休校期間中に32校で教育用クラウドサービスを活用して、学習課題の配信・回収や課題解説用の動画の配信など家庭学習を支援する様々な取り組みを行った。このうち10校が、家庭にあるパソコンやタブレット端末等を利用した双方向型のオンライン授業を実施している。

1 双方向オンライン授業の実践例

	高岡高校（新規 CATV回線利用）	高岡南高校（既存 教育ネット利用）
学校とインターネットをつなぐ使用回線	<p>教育クラウド</p> <p>CATV回線：学校契約 <高岡ケーブル(光回線 1Gbps)></p> <p>学校</p> <p>自宅</p> <p>LTE等：家庭契約</p> <p>教員PC：学校調達</p> <p>生徒スマホ等</p>	<p>教育クラウド</p> <p>(容量 150Mbps)</p> <p>教育ネット(富山マルチネット)</p> <p>(容量 100Mbps)</p> <p>学校</p> <p>自宅</p> <p>LTE等：家庭契約</p> <p>教員タブ：ICT教育推進事業</p> <p>生徒スマホ等</p>
生徒の感想	<ul style="list-style-type: none"> ○先生の姿が見え楽しかった。 ○感染を気にすることなく、安心して授業を受けることができた。 ○映像が鮮明で見やすく、授業を受けることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○規則正しい生活になった。 ○普段の授業とあまり変わらないため受けやすい。 ●黒板がぼやけ、少し見づらい。途中で止まることがある。

2 令和2年度オンライン授業推進事業（6月補正予算）

教育ネットを利用する場合、回線容量の制約のため配信内容が制限された授業となることから、今後、全県立高校に敷設されたCATVの回線容量を増強するほか、遠隔授業に必要なWebカメラ等の配備を行うこととしている。

オンライン授業用のネットワーク(学校)の構築イメージ

